

# 町内全域が銀世界



↑針尾公園からの眺望



↑黒之瀬戸大橋



↑だんだん市場周辺



↑行人岳入口



↑役場指江庁舎前



↑かまくらを作って遊ぶ子どもたち



↑降雪によるじゃがいもの被害



↑建友会による除雪作業（長島町役場前）

今回の降雪は、交通・生活・農業と多方面に渡って大きな影響を与えることとなりました。

さらに農作物においては、春バレイシヨの芽が出始めた時期と重なったことから、被害額が約2億1500万円に上ると試算されました。

今回の大雪の影響で、県道平尾川床線は2日間通行止めとなり、国道389号、黒之瀬戸大橋、県道長島宮之浦港線、県道葛輪瀬戸線は、チェーン規制が入るなど町内の交通機能は一時的にまひした状態となりました。また、厳しい冷え込みにより、水道管が凍結・破裂し一時、700戸が断水となるなど、生活への影響も大きなものとなりました。

行人岳付近では約30センチ、両役場周辺でも10センチから15センチの積雪が確認され、子どもたちは大雪に喜びながら、雪だるまやかまくらなどを作って雪遊びを楽しんでいました。

町内全域での積雪が確認されたのは、平成23年1月以来5年ぶりでしたが、今回はこれまでにない大雪となり、雪化粧した家屋や田畑の風景は、南国鹿児島とは思えない世界となりました。

1月24日から25日にかけて、日本上空に非常に強い寒気が入った影響で、冬の気圧配置が強まり、長島町内全域でも雪が降り積もりました。